SCMハンドブック
日本ロジスティクスシステム学会 監修・唐澤 豊編著
http://www.kyoritsu-pub.co.jp/bookdetail/9784320096455

序　　文

一般社団法人日本ロジスティクスシステム学会が創立 20 周年を迎えたことを心からお祝い申し上げますとともに，今後の更なる飛躍発展を大いに期待している次第です。

加えて，今般，創立 20 周年の記念事業として学会員の総力を挙げて本書の発刊の機会を得ましたことに衷心よりお喜び申し上げます。

周知のように，グローバリゼーションの加速化は，ボーダレス経済とこれを支えるグローバル SCM をもたらした。今や，グローバル SCM は経済を支える血液の役割を果たすような存在であり，SCM の支援なくしては，グローバル経済はもとより，国際社会は立ち行かぬようになっている。換言すれば，現代社会におけるグローバル SCM は，広く地球環境や天然資源をも含め，経済，社会，科学技術あるいは生活者に到るすべてに有形，無形の係り合いをもち，現代社会の基盤形成の主要素の一つとなっている。経済原則の一つに三面等価の原則，すなわち，総生産（GDP）を生産，分配（所得），支出は等しいとする原則があるが，現代は，これにロジスティクス（SCM）を加え，四面等価の原則の時代となっているものといえる。

翻って，学会創立以来，国内的には全国大会を毎年開催し，学会員相互の研鑽の場として，あるいは研究成果の伝播の集いとしての重責を果たしてきた。さらに，産学交流の場としての産学交流研究，あるいは地域における研鑽の場としての支部活動を実施してきた。一方，研究成果の発表の場としては，日本ロジスティクスシステム学会誌も版を重ね，若手研究者の育成ならびに奨励を含め大きな成果を挙げてきた。また，国際的には，関係諸国の協力の下に，IFLS（国際ロジスティクス・SCM 連盟：The International Federation of Logistics and SCM Systems）を設立し，アジアの研究成果や先進事例をアジアはもちろんのこと世界に発信すべく活動を開始した。アジアが結束し，アジアから世界に対し，学問の積極的な交流を促進することがひとつの目的であ

る。ICLS（ロジスティクス・SCM システムズ国際会議：The International Congress on Logistics and SCM Systems）はまさにその活動の中核である。ICLS の Proceedings はもとより，IJLS（国際ロジスティクス・SCM システムズ誌：The International Journal of Logistics and SCM Systems）は，今や，内外で，高い評価を得ている。

一方，国際経済はもとより国際社会生活の中で SCM の重要性がますます増加する中で，欧米では，SCM，倉庫，輸送等に関連するハンドブックは，年々版を重ね，産業界の発展や高等教育の糧として貢献しているが，わが国では，社会的に，SCM の重要度が増すのに対して，SCM の知識に対する注目度は極端に低い状態であり関連図書の発刊は皆無の状態であった。

今般，一般社団法人日本ロジスティクスシステム学会が共立出版（株）のご協力を得て，わが国初の SCM ハンドブックを刊行できるに至ったが，この出版を通して，学会が日本の社会，産業界あるいは教育にささやかながら貢献できるものと期待している。創立 20 周年が次の発展の礎となり，微力ながらわが国社会の発展のために貢献することを切望する次第である。

最後に，本書の刊行の実現にお骨折りを頂いた共立出版（株）の寿日出男氏ならびに企画・編集面でお世話頂いた瀬水勝良氏に学会員に代わって謝意を表するとともに，本書の編集に際して多大な努力と貢献を頂いた大島商船高等専門学校教授 石原良晃編集委員会委員長にお礼を申し上げる次第である。さらに，本書の企画，校正等諸事につき献身的な努力をした妻美奈子に心から感謝する次第である。

2018 年 2 月

学会創立 20 周年を祝して

編著者　唐澤　豊